

平成31年度 一般会計

※金額は端数調整してあります。

歳入決算額 **499億6,200万円**

歳出決算額 **478億2,700万円**

差引収支額 **21億3,500万円**

予算決算特別委員会(9月18日・23日～24日)の審査

産業・労働分野

お試しサテライトオフィス

問 お試しサテライトオフィスの管理運営に関する要綱では、利用期間は最長3か月としている。開設以来3か年継続利用している実態があり設置目的から乖離していると監査でも指摘されている。そもそも3か月では企業支援や育成はできないのではないかと。要綱を改めるべきではないか。

答 要綱では、必要に応じ利用期間を延長できるとしている。しかし、延長の理由をしっかりと判断していく必要がある。

有害鳥獣の捕獲技術者育成支援

問 捕獲技術者育成支援として8人育成確保されたが、当初予算980万円に対し実績が172万円。成り手不足であればその実情と捕獲技術者の必要目標数は。

答 様々な機会でも周知に努めた。現在免許所持者が191人確保できているが、高齢化等もあり今後も支援制度を積極的に周知する。



環境・景観分野

無電柱化整備計画策定のための基礎調査

問 基礎調査の内容は。また、市内のどの地域で調査されたのか。

答 整備範囲は全市的に検討し、市街地と奥飛騨温泉郷地域で現地調査を実施。路線ごとの幅員や埋設物について調査した。



自然エネルギー普及促進事業

問 自然エネルギー活用支援の内容は。予算額が2,146万円に対し、決算では6万円。執行率が低い理由は。

答 支援内容として、関心のある方にアドバイザーを派遣するもの、事業に対する調査・設計への補助、利子補給などの融資制度がある。制度を利用される方が少なかったが、地域で具体的に事業を進め、成功に結び付ける支援を行っていく。

教育・文化分野

部活動指導員の配置

問 部活動指導員8人の指導種目と配置基準は。

答 野球部・剣道部・バレー部などで、顧問に経験がない、担当が一人では対応できないなどの場合に配置している。全校一律の対応ではない。



心の教育推進事業

問 保健相談員と特別支援員はどういった住み分けがなされ、使い分けはどうなっているのか。また、相談員・支援員は足りているのか。

答 相談員と支援員の勤務条件に変わりはない。特別支援員は特別支援学級の児童生徒の中で介護が必要であることや、特別支援学校が望ましいと判定された子どもたちの対応をしている。相談員は、通常学級に在籍しながら、ある程度支援が必要であるとか、外国の子どもたち、年度途中でのケガ、転校生などの支援もしている。